



手話奉仕員 養成講座

篠山市から委託を受け、実施する手話奉仕員養成講座（以下、「手話講座」）は、平成15年度からスタートし、本年度で11回目となります。

手話奉仕員は、手話を学び、聴覚障がい者と話をすることで、人と人とのつながりを広げる役割を担っています。

手話講座は、手話で日常会話ができるレベルの、手話奉仕員の養成を目標としており、毎年、入門課程と基礎課程を交互に開講しています。

入門課程では、手話で挨拶や自己紹介程度の会話が可能な技術の習得を目標に置きつつ、手話だけでなく、身振りや表情などの様々な表現方法を用いて、聴覚障がい者と手話で日常会話ができるための基本を学びます。

基礎課程は、入門編修了者や手話で日常会話ができる人達を対象にしています。特定の聴覚障がい者となら、手話で日常会話ができる技術の習得を目標に置きながら、手話の語い数を増やすとともに、

手話の基本文法を学びます。

講師は市内在住の大内和彦さん（聴覚障がい者）に、通訳は篠山市派遣登録手話通訳者にお世話になっています。

受講者は、「職場に聴覚障がい者がいてコミュニケーションをとりたい」、「今後のボランティア活動に活かしたい」など、様々な理由で受講されますが、手話講座終了後には、通訳者を目指す方や、市内の手話サークルに入会して、聴覚障がい者との交流を深める方、職場で活かす方など様々です。

聴覚障がい者とのコミュニケーションは筆談やメールなどでもできますが、私たちが何気なく音声言語で会話するように、聴覚障がい者と手話で会話できる人が増えれば、聴覚障がい者にとって住みやすい環境が生まれます。そして、手話を学ぶ人にとっても、新たな友人を得ることができ、より広い視野を持つて世界を見ることができるようになります。

包括支援センター 健康講座を開催しました

7月31日(水)、塩岡公民館において、瑞祥老人クラブの健康講座が開催されました。

当日は講師として地域包括支援センターの社会福祉士と保健師が参加し、夏の健康づくりと、地域の助け合いについて話をしました。

最近依頼が増えてきた助け合いについての話では、まずチェック表を使って隣近所との付き合い方を振り返ってもらいました。次に、地域でよくあるエピソードを交えながら、助け合いについていろいろなパターンについて説明しました。

助け合いのある、暮らしやすい地域を実現するために地



熱中症予防についての講座



体操やいろんなワークをしました

域包括支援センターからは新しいおつき合いのヒントを提案しました。それは「助けられ上手」になることです。

助けることよりも、助けられることに遠慮や抵抗がある人が多いですが、困った時に「助けてほしい」と言えたら、助け合いはともスムーズになると思います。周りの人がどんなに助けたいと思っても、認知症であることを隠されたり、訪問を拒否されたりすると、それ以上入り込むことができません。要援護者が周りに助けを求めないことが助け合いの障害になり、そこから孤独死が生まれることもあります。

私たちは、普段から助けら

れ上手になるよう心掛ける必要があります。また、地域においては助け合いのしやすい環境、つまり、一方的でなく相互に助けたり助けられたりする関係が大切です。

参加者は、「助けてほしい」と言つのは恥ずかしいけど、困った時はお互い様やもんなあ」と話されていました。

最後は地域でさらに助け合いの輪が広がっていくことを願って、みんな「助けて〜」と大きな声で言つて講座を締めくくりました。

地域包括支援センターが行う健康講座は、健康に関することだけでなく、介護保険制度に関することや、ネットワーク作りに関するものについても、希望があればお話しせていただいています。内容については、メニュー表も作っているのでぜひご利用ください。

私たちも講座に出向いた先で教えていただくこと、気付くことがたくさんあります。これからも、学びもあれば笑いもある、有意義な時間を共に作っていきたいと思います。

第52回社会福祉夏季大学

〜認め合い、ともにつながる社会に向けて〜

7月29日、神戸芸術センター芸術会場において、第52回社会福祉夏季大学が開催され、支え合い社会の実現に向けての課題と、取り組みを考へる機会となりました。

県内から会場に多くの聴講者が集まり、社会福祉への関心の高さが伝わってきました。

当日の基調講演は、せんだいメディアテーク館長として活躍されている鷲田清一氏で、無縁社会を悲観するだけで終わらせるのではなく、三つの縁「血縁・地縁・社縁」以外の新たな縁の可能性「無縁の縁」を探ることが出来る

社会であると述べ、リーダーシップに依存するのではなく、大切なことは市民が考え、提案していくという補佐的役割を担うこと（フォローワーシップ）こそがこれからの社会では必要になると力説されました。

また、新聞社の記者がパネラーとして登壇し、自身が取材した記事をもとに、それぞれの視点から、現在、無縁社

会の最前線で起こっている実態が報告されました。悲惨な無縁社会の現状を知り、お互いが支え合える社会の形成が急務であると論じられていました。

無縁社会は後期高齢者だけでなく、現在働いている若い世代にとっても関心のある問題であり、いじめ、貧困、孤独死等、希薄となった地域の関係が再びつながりを取りもどせるような活動を展開する必要がありますと感じました。



無縁社会について講演される鷲田清一氏

東日本大震災「篠山市災害支援市民ボランティア」募集(第14次)

日	時	備 考
9月20日(金)	午後4時30分 午後5時	丹南健康福祉センター集合 丹南健康福祉センター出発(車中泊)
9月21日(土)	午前8時 午前9時～午後4時 午後6時	宮城県気仙沼市到着 ○仮設住宅での交流及び漁業支援 気仙沼市内民宿「つなかん」到着、宿泊
9月22日(日)	午前7時30分 午前9時～午後4時	民宿出発(朝食付)、宮城県南三陸町へ ○南三陸町仮設住宅での支援活動 現地出発(途中入浴、車中泊)
9月23日(月)	午前7時(予定)	丹南健康福祉センター帰着

- 実施日** 平成25年9月20日(金)～23日(月)
- 行き先** 宮城県気仙沼市、南三陸町
- 活動内容** 仮設住宅での支援活動及び漁業支援(現地との調整後の決定となります)
- 募集人員** 20名 ※篠山市民で初回の方を優先します
- 受付日** 8月12日(月)～9月6日(金)
平日の9:00～17:00 先着順で受け付けます
- 申込先** 篠山市社会福祉協議会 担当:小谷隆幸
TEL 079-590-1112
- 参加費** 8,000円(民宿宿泊料、ボランティア活動保険代)
宿泊先: 民宿「つなかん」 TEL0226-32-2264
気仙沼市唐桑町鮎立81

Vボラナビ

ボランティアのいろいろをココから発信!! ボランティアナビゲーション

お気軽にご利用ください

受講生募集!!

篠山市点訳奉仕員養成講座(中級)を開催します

この講座は、点訳を学ぶことにより視覚障がい者への理解を深め、視覚障がい者の広報活動等の支援者として、点訳に必要な技術等を習得した点訳奉仕員を養成することを目的に開講します。

みなさんのご参加をお待ちしています!

と き 9月25日～11月27日(毎週水曜日 全10回)
午後1時30分～3時30分

と ころ 丹南健康福祉センター 第1会議室(2階)

講 師 丹南点訳アイ・愛サークル会員
(点字技能師・点字指導員)

受講料 無料(テキスト代1,050円は自己負担)

受講対象 点訳奉仕員養成講座(初級)を修了された方
または同等の技術をお持ちの方

募集定員 25名

申込締切 9月13日(金)



傾聴ボランティアグループ「ラビット」のご紹介

傾聴ボランティアとは、相手の心に寄り添って話を聴く「お話し相手」のボランティアです。

高齢者や傾聴を希望される方を対象として、傾聴ボランティア活動を行い、心身の健康を支援することを目的に活動しています。

若かりし頃のこと、不安や悩み、身体の調子など何でもお気軽にお話しください。



利用上の約束ごとは次のとおりです

- ①対象は、高齢者や傾聴を希望される方です
- ②利用料は、1回あたり300円です
- ③利用者のお宅や施設にお伺いします
- ④1回あたりの活動時間は、1時間程度です
- ⑤ボランティアは、2人1組でお伺いします
- ⑥お話の中で知り得た情報は漏らしません
- ⑦家事や介護はできません



〈申し込み先・問い合わせ〉 篠山市社会福祉協議会 担当:小村 美晴 TEL590-1112

心配ごと相談日

下記のとおり相談日を設けています。
お気軽にご相談ください。

と き	と ころ
9/6(金) 9:00～11:30	丹南健康福祉センター
9/13(金) 9:00～11:30	篠山市民センター
9/20(金) 9:00～11:30	丹南健康福祉センター
9/26(木) 13:30～16:00	ハートピアセンター
9/27(金) 9:00～11:30	篠山市民センター

篠山市の福祉指標

6月末現在

地 区	人口(人)	65歳以上人口(人)	高齢化率	増減	14歳以下人口(人)	年少率	増減
篠 山	12,993人	3,814人	29.4%	↑	1,560人	12.0%	→
城 東	3,518人	1,292人	36.7%	↑	289人	8.2%	↓
多 紀	3,418人	1,411人	41.3%	↑	284人	8.3%	→
西 紀	4,327人	1,242人	28.7%	↑	560人	12.9%	→
丹 南	15,943人	3,995人	25.1%	↑	2,144人	13.4%	↓
今 田	3,735人	1,065人	28.5%	↑	403人	10.8%	↑
合 計	43,934人	12,819人	29.2%	↑	5,240人	11.9%	→

善意銀行だより

7月1日～31日預託分

(敬称略)

— 金銭預託 —

松本美千代(井ノ上)	善意の預託……	3,000円
藤木千皓(小中)	善意の預託……	20,000円
T.O(小多田)	善意の預託……	20,000円
匿名	善意の預託……	6,300円

— 物品預託 —

芦田富基子(今田町芦原新田) 鉢植えの花 9鉢	……………今田地区ひとり暮らし高齢者
飯田成代(垣屋) 折り紙細工	……………給食サービス
西澤昭美(栗柄) 折り紙細工	……………給食サービス
小谷重二(知足) じゃがいも 79kg、玉ねぎ 5kg、 青ねぎ 5kg、青じそ 1kg	……………給食サービス
数元とみ子(草野) ピーマン 20kg	……………給食サービス
波部隆三(北嶋) きゅうり 30kg	……………給食サービス
園田商店 大山スイカ 3玉	……………給食サービス
匿名 玉ねぎ 20kg	……………給食サービス

嘱託職員紹介



むらかみけい
村上恵子

8月より篠山市社会福祉協議会でお世話になることになりました。なにぶん初めてのことでご迷惑をお掛けすることばかりかと思いますが、一日でも早く業務に慣れ、皆さんのお役に立てるように頑張りますのでよろしく願います。

傷痍軍人会は、1952年に発足され、日中戦争や太平洋戦争などで負傷した元軍人らでつくる全国組織です。この会は、戦傷病者の支援や相談に取り組み、まれてきました。会員数の減少と高齢化で、活動の継続が困難になり、本年3月末、兵庫県傷痍軍人会、また篠山市傷痍軍人会も解散されました。当市傷痍軍人会の前川会長は、解散後、当社協に立ち寄り、時代の流れなので、でも、このような会が、再び発足されることのないように願いたい」と、話されました。

あとがき

法人会費にご協力いただきありがとうございました。

平成25年7月31日現在(敬称略)



伊丹産業(株) 篠山工場

篠山市ファミリーサポートセンター

第2回 フォローアップ講習会(全会員対象)

親子でいっぱい野菜を食べよう!

身体にも優しくアイデアたっぷりのメニューは、子どもも大人も大満足。どうぞふるってご参加ください。

お野菜いっぱいメニュー

お野菜だけで作る「ベジタブルハンバーグ」
国産小麦で作る「ベジタブルパンケーキお豆腐クリーム添え」
(いずれも動物性食品、卵、乳製品、白砂糖は使用しません)

と き:平成25年10月9日(水)

と ころ:篠山市民センター 研修室3

講 師:崎田 薫さん(製薬衛生士、「キレイになるお菓子教室」主宰)

定 員:20名

参加費:700円(大人1人分)

持ち物:お米1合、エプロン、三角巾

託 児:あり(10名まで要予約)

申込締切:10月2日(水)



※調理終了後、参加者でお食事をいただきます。

※できあがり、大人1人分になりますので、託児の子どもさんの分が必要な場合は、申込時にご相談ください。

平日にファミサポの会員登録ができない方は、毎月第2土曜日(9時～11時半)に、社会福祉協議会において登録することができます。予約制のため、ご希望の方はファミサポまでお問い合わせください。



子ども一時預かり“かんばん”

と き:9月18日(水)・10月22日(火)

※両日とも午前10時～12時

(受付9時45分～)

と ころ:四季の森生涯学習センター東館 和室(2F)

定 員:10名(生後6カ月～就学前のお子さん)

利用料:子ども1人につき 1回500円

申込締切:各実施日の1週間前までにお申し込みください

★ファミサポ会員以外の方も利用できます。

★利用には申し込みが必要です。

★定員になり次第、締め切らせていただきます。

～詳しくはファミサポまで～

申し込み・問い合わせ先
篠山市ファミリーサポートセンター
TEL 590-1388 担当 林 直美

